

今年も開催

2025/PEACE MARATHON & WALK

からの圧力によって欧州も軍事費をGDP比で3.5%~5%にまで引き上げることを決しました。日本に対しても3.5%への引き上げを求めようとしています。

日本の介護予算が2.3%、子ども子育て予算が1.7%（いずれもGDP比）であることを考えればどんでもないことです。

ガザで、ウクライナで、今又イラクで戦争の足音が大きく響き渡っています。

平和を望む世界の声に背を背け、アメリカ

募

集

千葉・反核平和マラソン&ウォーク

昨年は、（軍都）千葉市の戦跡を巡り、平和の尊さを参加者みんなで共有してきました。

今年は、船橋・中山競馬場近隣

で戦跡を巡ります。
2021年1月22日に発効した核兵器の開発・保有・使用・威嚇を全面禁止する核兵器禁止条約！現在署名96カ国、批准73カ国、同条約批准・署名に背を向ける日本政府にも参加を呼びかけましょう！

こんな所を巡ります

中山競馬場は昭和3年に開業。

性質上、軍部との繋がりも深く協力体制になりましたが、戦時中の昭和19年に中山競馬場は封鎖され陸軍に接收されます。中山競馬場敷地内には陸軍軍医学校中山出張所などが展開されていました。

戦時中、陸軍軍医学校中山出張所を中心としてこの中山の地では「破傷風の血清ワクチン」を製造する為に全国から競走馬や軍馬な

どが集められ、馬から血を抜いて血清を作っていたといいます。

その為にだけでは無いかもしれません、中山競馬場の裏手に「馬頭観音」が林立しているエリアがあります。



★日 時：2025年8月3日（日）

午前10時スタート

★集合時刻：午前9時45分

★集合場所：JR武藏野線・船橋法典駅改札口

★参加費：無料

★コース：JR船橋法典駅～中山競馬場～熊野神社～馬頭観音～船橋通信塔跡～日本建鐵工場跡～東武アーバンパークライン新船橋駅

※総距離 約6km・2時間弱で完歩（完走）

※新船橋駅周辺で打ち上げ予定

参加希望者はタイトルに記載のアドレスまでメール。若しくは電話を。

卓球全国大会出場権をかけて団体戦／一般・年代別開催！！

~~第61回千葉県スポーツ祭典卓球大会団体戦（全国大会予選）~~

梅雨入り直前の6月7日（土）8日（日）の二日間にわたって四街道総合公園体育館（サブアリーナ）において、2026年2月・埼玉県所沢市で開催の【一般の部】及び2025年11月・長野県松本市で開催の【年代別の部】全国卓球選手権大会出場権をかけて競う予選会が開催されました。



1日目の一般女子では「PERLAS」、一般男子ではトーナメント戦で1位となった「すみれ」続く順位トーナメント戦で「キーパイトーパイ」、年代別（女子）では「山口企画」（30代）「チームへなちょこ」「あけび～ズ」（50代）、「ウェル」「杏仁クラブ」（60代）、「幸」「フリーダム」（70代）がそれぞれ全国大会出場権を得ました。



毎回ユニークモデル並みの山口企画メンバー

二日目の年代別男子では、「Av a B」「FCユニオン」（30代）、「Baboy」「TRF」（40代）、「TRF」「ヤチスマ」（50代）、「市原ひまわり」「F.C.C」（60代）、「TST」「JUST」（70代）、が

それぞれ全国大会出場権を得ることとなりました。

2年連続出場を決めたフリーダム



出場を決めた 幸

この日は県内各地で主要な卓球大会が重なっておりいつもより参加者が少ない状況（80名くらい）と伺いましたが、どの台でも白熱した試合展開で試合の合間、合間に聞こえる選手の息遣いに観戦している方にもビンビンとその熱気が伝わってきました。

因みに前日の女子年代別を入れると年代別予選には120名以上の参加者、一般は130名を超えた参加者となるそうです。



結果が出て全国大会出場認定証を受け取る選手方に伺いました。

<ＴＳＴ>

2022年と2023年の全国大会は連覇することが出来ましたが昨年の大会では予選突破が出来なく悔しい思いをしました。今年は連覇時の勢いで盛り返しベストを尽くしたいです



<市原ひまわり>

全国大会には過去2回出場していますがいずれもベスト8止まりでしたので今回はその上を狙いたい

<ＴＲＦ>

全国大会に出場するチームはレベルが高い。簡単にトップは取れないがトラブルなく楽しんでやれれば良いとの思いで頑張りたい

<ヤチスマ>

団体戦は初出場です。もし可能であれば決勝戦を千葉県勢で戦いたいですね(笑)



【全国大会出場チーム（年代別）】

男子		女子	
30代	TRF (全国推薦)	30代	山口企画
	Ava	50代	チームへなちょこ
	F.C.ユニオン		あけび~ズ
40代	Baboy	60代	杏仁クラブ
	TRF		ウェル
50代	TRF	70代	フリーダム
	ヤチスマ		幸
60代	市原ひまわり		
	F.C.C		
70代	TST		
	JUST		

山口幸雄さんを悼む

県連盟理事長 園川 峰紀

2025年6月18日（火）未明、県連盟理事・山口幸雄さんが旅立たれました。享年80歳。ここに謹んでご冥福をお祈りします。

県連盟理事としては、2024年度（第52期）から務めて頂いていましたが、出身母体の千葉ランニングクラブの会計担当や県連盟の重要イベントである「千葉・青葉の森リレーマラソン」のスタッフも含め各方面で活動して頂いていました。

故人は、地域の山の会、県連盟のテニスクラブに参加されていただけでなく、殊の外ランニングに力を入れて、県内は言うに及ばず海外まで足を運んで各地のマラソン大会でランニングライフを楽しめていましたが、ここ数年は胃がんの発症もあり「食事制限などで中々思うように走れない」とこぼされていたことを昨日の



ことのように思い出します。

持ち前の気さくで明るい人柄も手伝い、クラブの面倒な業務にも愚痴をこぼさず取り組んで頂き、これからも県連盟を含め重要な業務をお願いしようとしていた矢先の「旅立ち」に接することとなりました事は誠に残念で仕方がありません。

奇しくも千葉県連盟機関紙「Sports Netちば」6月号掲載の人物探訪欄に故人の記事を掲載することとなりましたが、旅立たれる前にご本人の目にも止まることが出来た旨伺っていますので幾らかの供養になったのではないかと思います。同記事に目を通す機会がありましたら、その際に故人を偲んで頂ければ幸いです。

おそらく故人は「彼の地」でも走り回っていることだと思いますが、これからも県連盟の行く末を見守っていてくれることでしょう。

(合掌)

理事会報告

6月21日（土）千葉総合スポーツセンター宿泊棟第4研修室において、53期第2回となる理事会を開催いたしました。

【総会以降の各協議会活動経過】

野球：宮野木球場のベンチに屋根がついた、樹木の剪定も行われた。旭川で全国大会が開催される。

空手：春の大会では賞状発行が間に合わず、後日郵送となってしまった。入賞についてメダルからトロフィーに変更する事を検討している。

スキー：全国スキー協前会長の栗巣さんが亡くなられた。本日「愚ふ会」が開催され、佐々木事務局長が集積する。

卓球：会員数が570名以上に増加。会場確保は厳しいが、何とか大会を開催している。

テニス：年間60日大会を開催予定。現在99チー

ム1,169名が加盟。

ランニング：第23回千葉青葉の森リレーマラソンを開催。1,180名の参加。

反核ラン&ウォークを8/3に船橋で開催予定

サッカー：2026年度からミックスリーグを本格始動予定。

ウォーキング：月1回（第4火曜日）ペースで例会を開催。

バレーボール：全国大会予選開催予定。

MIXバレーボール：全国大会代表は決定している。7月に夏季交流大会を開催予定。

【協議関係】

○全国連盟へ都道府県分担金として648,637円を納入予定。

○佐々木、本田の活動費補助を引き上げ

○リレーマラソンの総括

7/21にランニングクラブを中心としたメンバーで「総括会議」及び「打ち上げ」を予定。

○反核ウォーク&ランについて「参加者募集」

スポーツアラカルト

地球温暖化どころではない 地球沸騰化

6月というのに熱帯夜、各地の梅雨明けも早く、雨と言えば集中的な豪雨、本当にこのままでは日本はどうなっていくのか心配になります。

世界的にも異変が多く、氷河の後退、永久凍土の融解、乾燥による大規模な山火事、大洪水など世界各地で異常気象が報道されています。

地球温暖化どころか地球沸騰とさえ言われるようになりました。

このまま何もせず今までの生活を続けていて良いものでしょうか。

冬のスポーツであるスキー・スノーボード・山スキー等は雪が無ければ楽しめないスポーツであり、何年も前からおかしいと危機感を感じています。

新日本スポーツ連盟全国勤労者スキー協議会ではPOW (Protect Our Winter) の運動に参加しています。世界的な団体の日本支部である



全国勤労者スキー協議会が作ったペナント

POW-JAPAN、その活動はスキー場から変えようと運動しています。スキー場がグリーンであること（再生エネルギーへの切り替えや省エネ・ゴミ削減等）を目指しています。

気候変動対策に積極的に取り組むスキー場を支持し、いっしょになって活動しています。

スキー場は雪不足や気温上昇など気候変動の影響を大きく受けはじめています。雪不足はスキー場だけでなく、それを支える自然環境・農業等の周辺の生活、地域行政などにも大きく関わっています。

いつまでもスキー・スノーボードを楽しむためには私たちスキーヤーも温暖化阻止に向けて一人ひとりが意識を持っていかなくてはいけないと強く感じています。

クラブ紹介

武道館連合 葵会館

空 手



①クラブ（チーム）名武道会連合 葵会館

②代表者 田口 淳一

③連絡先（住所・電話番号・HP等）

HP <http://aoikaikan.starfree.jp>

④チームの概要

<名前の由来>

名前の由来は代表者の田口師範の家紋が「葵」であることから採用したと聞いています。葵の家紋は徳川将軍家の家紋として知られていますが、果たして田口師範のご先祖が徳川家と何らかのつながりがあるかどうかは定かではありませんが（笑）



<チームの特徴>

クラブを創立したのが15年ほど前で、小学生が主体の構成です。設立の趣旨として、私たちの流派「剛柔流」を通じて「謙虚」「柔軟」「剛勇」を旨に、弛まぬ努力が出来る人になることをお手伝いすることとしています。

とかく空手は「危ない」「怖い」「痛い」といったイメージを持たれるくらいがありますが、そのような不安を払い、誰でも気軽に空手を体験できます。空手は楽しい、誰にでも出来る、そんな雰囲気が漂う道場を目指しています。

<練習日程等>

練習は週4~5日行っています。時間帯は夜の7時から9時頃まで。練習場所は小中学校の体育館や武道場を利用してみっちり練習しています。

週末は県内外で開かれる大会に出場していま

すが、その中でも新スポ連の大会は初心者も参加しやすい雰囲気で道場生達も喜んで参加しているようです。



<登録人数等>

登録人数は創立当時から小学生が主体です。入会の動機は親御さんが空手をやっていることから興味を持って自分もやりたいという子供さんが殆どですが、中学・高校と進んでも部活で空手を行っている学校は少ないのでもっと気軽にできる環境が欲しいです。

⑤クラブのアピール（2025年度の抱負等）

私たちの流派「剛柔流」は、「松濤館流」「糸東流」「和道流」と並ぶ伝統流派のひとつで「人に打たれず、人打たず、事なきを持ちとするなり」つまり、闘って勝つだけが目的ではなく、戦わずして目的を達成することを矜持としています。

因みに、空手の段位は10級から始まり10段で頂点という完全なピラミッド型。頂点に立つにはそれなりの時間がかかります。大人でも初段に届くまでには4~5年かかりますし、審判資格を得るにも段位を取らなければ上級に進めませんが、長く続けられるスポーツです。年齢・経験は一切関係ありません。明るく楽しく一緒に空手をやりましょう！

⑥ 新スポ連盟への希望・要望など

今回のクラブ紹介寄稿文は、空手協議会・八木さんにインタビューを行い作成しました。因みに代表の田口師範の段位は3段、八木さんは3段だそうです。

葵会館のことをもっと知りたい方は是非同会館のHPにアクセスしてみてください。そして少しでも興味があれば葵会館の門を叩いてみるのも一興ですよ！

（文責 園川）

SPORTS CALENDAR

6月

- 7月 5日(土) テニス全国大会予選混合D 天台B
バレー ボール関東大会(JFE体育館)
7月 6日(日) テニス全国大会予選女子D 天台B
MIXバレー ボール夏季交流大会
7月13日(日) 野球協リーグ戦(稻毛海浜A/B)
7月19日(土) テニス(女・混・男)Dチーム対抗戦
バレー ボール全国大会予選(JFE体育館)
7月20日(日) テニス全国大会予選壮年男子S 天台A
7月21日(月) テニス全国大会予選壮年女子D 稲毛海浜
野球協リーグ戦(有吉公園)
7月22日(火) ウォーキング協議会例会(木洩れびの里)
7月 9日(水) 四役会議
7月17日(木) 常任理事会

7月

- 8月 2日(土) テニス男子3ペアチーム対抗 青葉の森
8月 3日(日) テニス関東大会混D予選(天台)
野球協リーグ戦(竪橋・有吉)
反核ウォーク&ラン(船橋)
8月10日(日) 野球協リーグ戦(竪橋球場)
8月11日(月・祝) テニス3ペアチーム対抗 天台B
空手協議会夏季大会(天台武道館)
野球協リーグ戦(天台軟式)
8月16日(土) テニス全国大会予選男女S 天台B
卓球年代別個人戦全国大会予選(花島公園)
8月17日(日) 野球協リーグ戦(古市場・青葉の森)
8月23日(土) テニス全国大会予選男D 天台B
8月13日(水) 4役会議 8月21日(木)常任理事会

ドーピング容認大会？！

2026年5月開催に向けて米国大会運営団体準備を進める

ドーピングがスポーツ界に与えた衝撃は計り知れないものがあります。例えば1988年ソウル五輪で当時世界新をたたき出したベン・ジョンソン選手(カナダ・男子百メートル)が筋肉増強剤・ステロイドを使用していたことがドーピング検査で発覚、金メダルを剥奪された事例。70年代から80年代にかけての東西冷戦のさなか開催されたオリンピックで金メダルを総なめにした東ドイツ(当時)選手団が国家ぐるみでドーピング違反を犯していましたことが判明。ドーピング違反に問われた選手達のその後を追った「NHK特集番組(2025年春再放送)」をご覧になった人もおいでになるでしょう。ほとんどの選手が後遺症に悩まされ、死亡に至った選手も。薬物が選手の体にダメージを与えていたかをこれでもかと映し出していました。

最近ではロシアのフィギュアスケート女子・カミラ・ワリノワ選手が2022年北京五輪団体戦で優勝となったものの前年のロシア選手権大会で禁止薬物陽性反応が出たことから4年間の資格停止処分を受けた事例がありますが、この事例もロシアのドーピング規制団体が絡んでいたことが明らかになっています。

ドーピングが選手の体に与える影響は計り知れないものがあり、かつスポーツ精神に根本的に反していることは明白であるにもかかわらず、米国の大会運営団体は第1回大会を来年5月ラスベガスで開催すると公表。種目は陸上・競泳・重量挙げの3競技。更に、世界記録を更新すると賞金は100万ドル(約1億1千万円)とも。五輪金メダリスト複数名が参加を表明しており、トランプ大統領の長男が支援を表明しているとメディアは伝えています。

世界陸連(WT)セバスチャン・コーア会長は、この大会に参加した選手には「資格停止処分」を科す方針を明らかにしました。既に競泳ではプレ大会が開催されパフォーマンス向上の為、薬物を使用して世界記録を上回る記録を出したとも外電は伝えています。

薬物使用の副作用による健康被害や、スポーツ理念に反する懸念からWADA(世界アンチドーピング機構)も強く批判。世界水泳連盟や各競技団体もWT同様「資格停止処分」を検討中。選手生命を脅かす危険な大会は中止すべきとの思いを強くしています。



理事長の独り言